



車で河原へ下りられるため人気の場所だがポイントが少ない。1〜2人での入川がベスト



明神橋上流の深トコ。右岸に岩盤があり良型が多いが左岸からは過水時でないとも届かない



4WDなら河原へ下りられる



4WDなら河原へ下りられる



広い瀬肩がねらいめ。握り拳大の石が敷き詰められており全体がポイント



高瀬橋の好ポイント。比較的広めの瀬肩がねらいめ。高水時は瀬がよく釣れる



ぼたん荘の前あたりが友釣りポイントとしては最下流。瀬肩を渡り右岸からのサオだしがベスト

南紀月の瀬温泉ぼたん荘



月野瀬にある温泉宿泊施設で日帰り入浴も可能。泉質はアルカリ単純泉。平成26年度からの金額は未定だが宿泊料金を割引してくれるアユ釣りパックを実施。釣ったアユ2尾を焼いてもらえる特典付き。予約の際にアユ釣りの利用と申し出ればよい



高瀬橋の入川道。車で下りた前が深トコ。泳がせ釣りが得意な人におすすめ



瀬は短い川幅があり毎年実績があるポイント。瀬落ちのトコ場がよく掛かる



みなさんの店の駐車場利用可。駐車場の端から入川できる



至・国道371号方面



住宅前



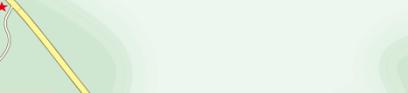
潜水橋



支流・小川の最下流の瀬。流れが右岸側に寄りプッシュがあるのでサオ抜けになることが多い



住宅前



4WDなら河原へ下りられる



高瀬橋



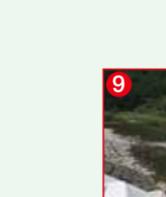
ぼたん荘



全体にトコ場でアユがストックされやすい。泳がせ派におすすめ



潜水橋下流の瀬。ところどころ岩盤が出ている左岸寄りからねらいめ。思わぬ良型が出ることもある



住宅前



住宅前



古座川水産



高瀬橋



ぼたん荘



過水時に写真の中央付近にチャラ瀬ができる。橋の前後は砂で埋まっている場所があるので、釣り場を下りる前に橋の上から確認しておきたい



潜水橋上流の瀬は高水時に好釣果が期待できる。過水時は瀬肩から上流のトコ場がねらいめ



住宅前



住宅前



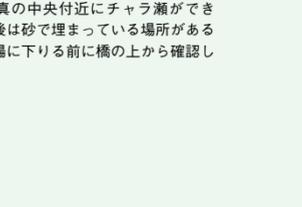
古座川水産



高瀬橋



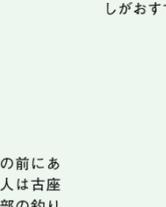
ぼたん荘



過水時に写真の中央付近にチャラ瀬ができる。橋の前後は砂で埋まっている場所があるので、釣り場を下りる前に橋の上から確認しておきたい



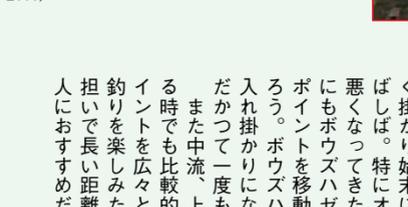
潜水橋上流の瀬は高水時に好釣果が期待できる。過水時は瀬肩から上流のトコ場がねらいめ



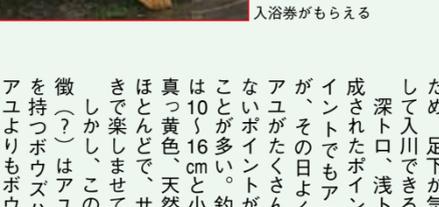
住宅前



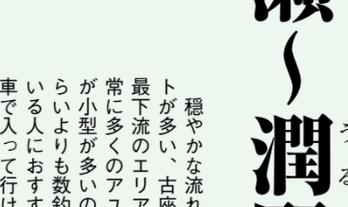
住宅前



古座川水産



高瀬橋



ぼたん荘



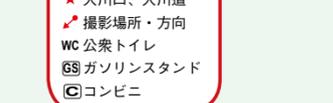
過水時に写真の中央付近にチャラ瀬ができる。橋の前後は砂で埋まっている場所があるので、釣り場を下りる前に橋の上から確認しておきたい



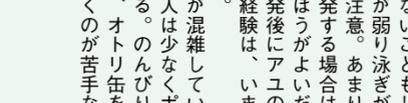
潜水橋上流の瀬は高水時に好釣果が期待できる。過水時は瀬肩から上流のトコ場がねらいめ



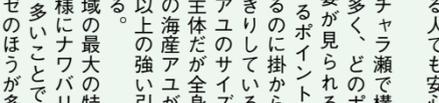
住宅前



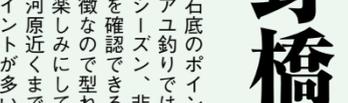
住宅前



古座川水産



高瀬橋



ぼたん荘

1月 つきの瀬の潤野橋

穏やかな流れで小石底のポイントが多い、古座川のアユ釣りでは最下流のエリア。毎シーズン、非常に多くのアユの姿を確認できるが小型が多いのが特徴なので型ねらいよりも数釣りを楽しみたいという人におすすめ。河原近くまで車で入って行けるポイントが多いため、足下が気になる人でも安心して入川できる。

深トコ、浅トコ、チャラ瀬で構成されたポイントが多く、どのポイントでもアユの姿が見られるが、その日よく掛かるポイント、アユがたくさん見えるのに掛からないポイントがはつきりしていることが多い。釣れるアユのサイズは10〜16cmと小型が主体だが全身真っ黄色、天然瀬上の海産アユがほとんどで、サイズ以上の強い引きで楽しませてくれる。

しかし、この下流域の最大の特徴(?)はアユと同様にナワバリを持つボウズハゼも多いことで、アユよりもボウズハゼのほうが多く掛かり始めに負えないこともしばしば。特にオトリが弱り泳ぎが悪くなってきたら要注意。あまりにもボウズハゼが連発する場合はポイントを移動したほうがよいだろう。ボウズハゼ連発後にアユの入れ掛かりになった経験は、いまだかつて一度もない。

また中流、上流域が混雑している時でも比較的釣り人は少なくポイントを広々と探れる。のんびり釣りを楽しみたい人、オトリ缶を担いで長い距離を歩くのが苦手な人におすすめだ。

- 凡例**
- オトリ店
 - 駐車スペース
 - 入川口、入川道
 - 撮影場所・方向
 - WC 公衆トイレ
 - ガソリンスタンド
 - コンビニ

2 小川・妙見橋・シブタレの瀬

こがわ みょうけん



1 妙見橋の下流は短い絞り込みの瀬と瀬肩がならいめ。瀬肩上流のトロ場も濁水時はよい



2 深い瀬の上流右岸に大石が入っている。良型がそろったポイント



6 露出した岩盤底のため良型アユがよく見えるポイント。増水後もアカが残しやすい



5 道路から見下ろせ、川底に比較的大きな石が敷き詰められているのが分かる。毎年、数、型ともねらえる好ポイント



3 全体に水深がなくチャラ瀬、早瀬が連続する小川のなかでも特に好ポイント



4 全体に流れが緩やかな釣場でアユのストック量が豊富。1カ所で粘って釣りたい人におすすめ



7 浅トロメインの釣り場。静かな釣りに徹することで好釣果が得られる



8 写真中央の波立ち部分が数釣れるポイントだが増水のたびに川相が変わる



10 広大な瀬肩が好ポイント。上流の深場にアユが溜まりやすく、その群れが下りてくると入れ掛かりになる



9 よい石が入っており必ず誰かがサオをだしている人気ポイント



11 12 道路からポイントが見下ろせアユの姿が確認できる。短い瀬と浅トロ場が連続する。階段があるので楽に下りられる

古座川町川口で本流へ流れ込む支流の小川は、釣りをしている膝ぐらいいまでだと思つて入って行くと腰までも水深があつた……というほど透明度抜群、水が綺麗な川だ。アユの姿は美しく、食べるなら小川のアユが一番！という人も多い美味なアユが育つ。川相は他の支流にくらべると比較的穏やかな流れで川底も小石から頭大の石の釣り場が多く、ポイントに入つてしまえば釣りは非常にしやすい。入川道はポイントごとにあるが駐車スペースから釣り場までの距離があるため、足腰に自信がある人向きだが小川のアユに惚れ込んだ年輩のベテランもけっこう多い。しかし入川道によつては落ち葉が何重にも重なり積もつた山道の場合があり、大変滑りやすくなつているので充分注意が必要だ。川沿いの道路はほぼ川より高いところに敷設されているので、入川前にナワバリアユがどれくらい付いているか、群れアユの動きはどうかなどの状況確認が好釣果に結びつく。そして小川での最大の必要条件が静かに釣ること。素晴らしい透明度を誇る川だけにアユからも釣り人の姿、動きは丸見えのはず。特に浅トロ、瀬肩を釣る場合は可能な限りムダな動きを控えたい。いったん瀬肩のアユが逃げたとしても、息を殺し水面を波立たせないように釣つていけばナワバリを持ったアユは必ず戻ってくる。

- 古座川のオトリ店**
- 古座川水産 ☎ 0735-72-2111
 - 福ちゃん ☎ 0735-78-0071
 - 谷口治代 ☎ 0735-79-0228
 - ペンション田舎路 ☎ 0735-79-0255
 - 民宿やまびこ ☎ 0735-79-0002
 - 藤田商店 ☎ 0735-78-0114
 - さこオトリ店 (裕成文) ☎ 0735-78-0037
 - 大石久美 ☎ 0735-78-0011
 - 田上 ☎ 0735-75-0225
 - 民宿沖 ☎ 0735-75-0366
 - 浅利 ☎ 0735-76-0069

- Guide**
- 管轄漁協 古座川漁業協同組合 (☎ 0735-72-3800)
 - 解禁日 6月1日(滝の拝橋から滝の間は6月16日)
 - 入漁料 年券1万円+消費税、日券3000円+消費税。18歳以下は無料
 - 釣況問い合わせ 漁協ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/ayuayu/>
 - 交通 下流部へは国道42号の古座川河口両サイドの信号(西向きしくは古座)から川沿いを北上。中流部へは串本市街に入る手前の高富の信号から国道371号を北上し鶴川橋へ。上流部は串本町和深から県道39号を北上、三尾川橋へ

いちぶりのあいせ 4 雨、相瀬

古座川本流のなかでも人気ポイントが連続し、シーズン初期から後期まで釣り人が絶えないエリア。変化に富んだ釣り場が多く1カ所のポイントで瀬釣りからトラ口の泳がせ釣りまでOKなので1日そこで粘る釣り人も多い。またポイントの上下流には必ずといってよいほど友釣りではねえられない大きな淵が控えていて、大量のアユがストックされるため釣り返しが効くのだ。おかげで古座川のなかでも特に釣果が安定しているように思う。ただ四輪駆動車に限るが河原まで乗り入れられる場所も多く便利のため、週末には満員御礼となることも多い。

釣れるアユのサイズは12〜20cmとバラバラだが平均すると18cm前後と、友釣りでは一番扱いやすいサイズなので個人的にも好きなエリアである。

問題はやはりボウズハゼが多いこと。オトリ継ぎの循環が妨げられるほどボウズハゼが発見する時は、早めにそのポイントを見切ることが必要だ。

特徴として1つの瀬の全体でアユが発見することは少なく、たとえば長い瀬の中の5m区間だけに入れ掛かりし、あとはボツボツということが多く、瀬釣りメインの人は早めのテンポで探り入れ掛かりポイントを見逃すのがよいだろう。一方、トラ口場では全体的に掛かることが多く、安定した釣果を目指すのであればトラ口場の泳がせに分がある。



瀬肩から瀬までよく掛かるポイントだが、増水ごとに地形が変わるので注意



下流に大きな淵がありアユがストックされているため釣り返しが効くポイント



車を横付けできる人気ポイント。左岸に岩盤底や崩れた大石が沈んでいるため、増水後も残りアユが期待できる



いかにも良型がそろいそうな深トラ。手尻を長めに取り泳がせるなどの工夫が必要



鶴川橋上流。300mほどの長い瀬で人気ポイントのひとつ



早瀬からトラ瀬になるポイント。広い釣り場だが入れ掛かりになる範囲は狭い



流れが穏やかなチャラ瀬で釣りやすい



ここも釣り人が絶えない人気ポイント。全体に浅く釣りやすい



①の瀬の上流部、トラ口場は泳がせ釣りで数釣れるが、底石が砂で埋まっている場所もある



大柳橋の東にあるオトリ店。(☎ 0735-78-0114)



相瀬橋の北側にあるオトリ店で⑫の写真でサオをだしているのは実はこの女将さん。(☎ 0735-78-0037)



相瀬橋の上流、旧道沿いにあるオトリ店。お店の前からも入川できる。(☎ 0735-78-0011)



橋の上から追いアユがよく確認できる。護岸も高いので見釣りができる



右岸、左岸に瀬があるが本流は右岸(写真では左)の流れ。左岸の流れは細く穏やかだが右岸で全く釣れない時に入れ掛かりしたことがある



広大なトラ口場だが砂底が多いので石を確認してからオトリを出すように



川幅は広いが石が敷き詰められている場所が少ないのでサオ抜けになりやすいポイント

- 古座川エリア④ ←古座川エリア③ ←古座川エリア② ←古座川エリア①
- 古座川エリア⑤ ←古座川エリア⑥ ←古座川エリア⑦ ←古座川エリア⑧ ←古座川エリア⑨

一枚岩、田野々橋

古座川本流の中流域にあたるこのエリアは、古座川を代表するポイントが目白押しで多くの釣り人で賑わう。国指定の天然記念物である一枚岩が迫力満点でそびえ立ち、県内外からの観光客も非常に多いところだ。河原まで車で下りられる場所は少ないが、側道に駐車し山肌を少し下れば河原に下りられる比較的人川しやすいポイントが多い。

中流域としては底石が大きく頭大の石が敷き詰められたポイントもあり、アユの平均サイズは18cm

前後だが、時には22cmを超える良型が掛かることもあるのであなどれない。ただ以前の水害の影響で砂や砂利が多くなり、増水のたびに砂が移動し敷き詰められていた玉石が埋まるなど川相が変化するようにもなった。

洞尾地区にある田上四店の田上智士さんは天然オトリを確保するために毎日のように川に入っており、この地区のアユには非常に詳しいのでポイントで悩んだ時は訪ねてみるとよい。親切に釣り場の情報を教えてもらえる。



洞尾橋上流のポイント。右岸側がサオ抜けになっていることがある



広大な瀬肩からチャラ瀬にかけて泳がせメインで釣ると数が出る



一枚岩のすぐ前はト口場中心のポイントで上流側に30mほどの瀬がある



瀬がメインの釣り場。過水時に釣果は落ちるが高水時は入れ掛かりになることが多い



駐車スペースは車2台分ほどしかないので釣り場を確保できれば、ゆっくり釣りができる



比較的石が大きく良型が出るポイントで泳がせが主体



比較的石が大きく良型が出るポイントで泳がせが主体



流心部の底石は小さめ。瀬の両サイドに拳大の石が入っている



全体がポイントだが右岸寄りの流れがねらいめだ



見た目は最高的一本瀬なので入川者が多く当たり外れが大きい



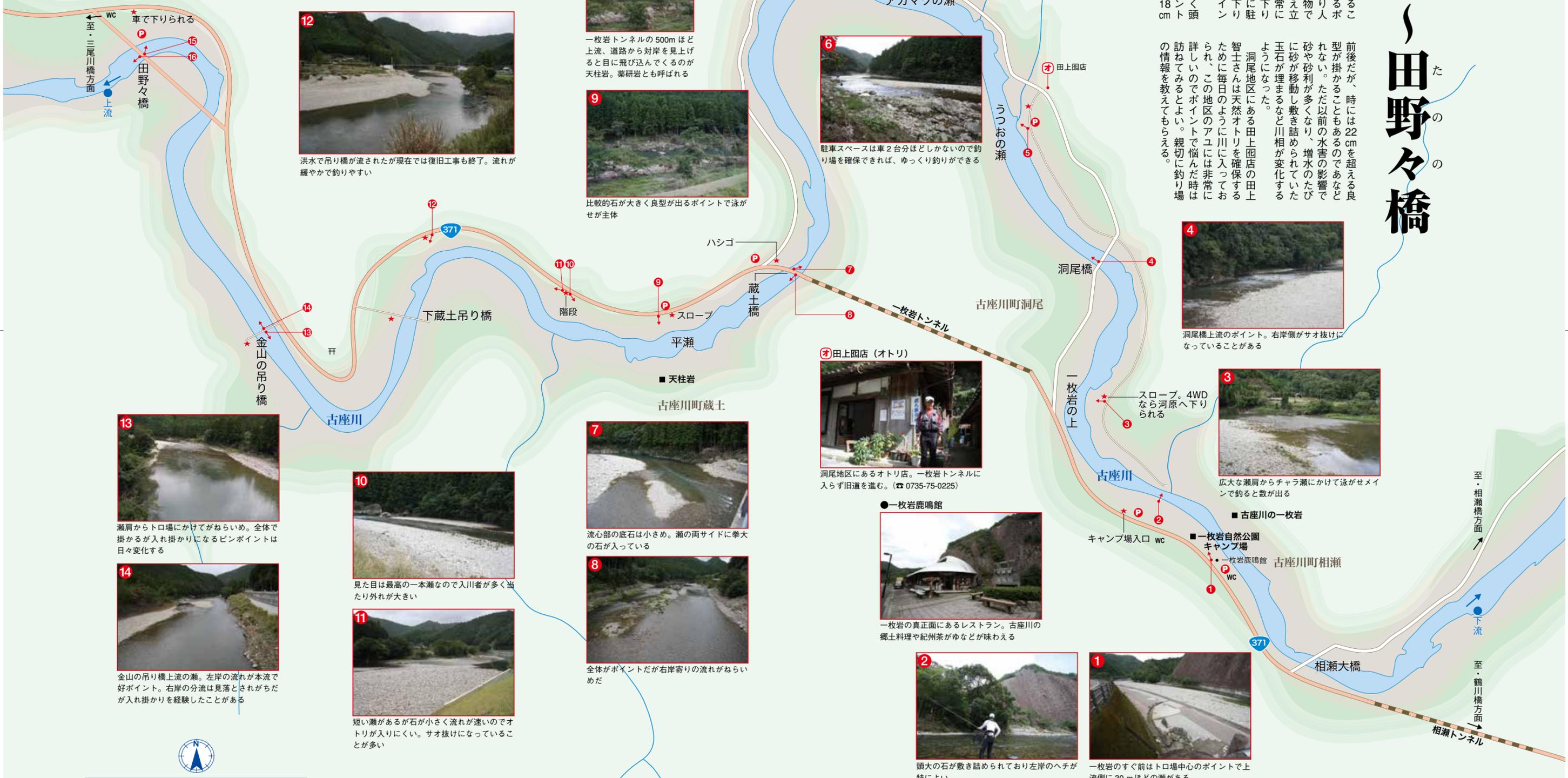
短い瀬があるが石が小さく流れが速いのでオトリが入りにくい。サオ抜けになっていることが多い



田野々橋の下流側は左岸側へ流れ込んでいる短い瀬がねらいめ。ポイントは狭い



瀬肩から瀬にかけてが好ポイント。下のト口場の右岸岩盤に良型が付いているが9mザオでは届かない



古座川エリア① ←古座川エリア② ←古座川エリア③ ←古座川エリア④ ←古座川エリア⑤ ←古座川エリア⑥ ←古座川エリア⑦ ←古座川エリア⑧ ←古座川エリア⑨



16 岩盤に囲まれた深トロで大型が釣れる好ポイントだがブラックバスに注意



15 両岸が岩盤の釣り場。底石が全体に大きい大型ポイント



14 川幅が狭く釣りにくい左岸際を丁寧にさぐると釣果が上がる



13 瀬肩と瀬落ちのトロ場がポイント。瀬肩の底石は大きめ



4 河原まで車で下りられ楽に入川できる。右岸際の大石周りで良型が掛かる



5 全体に石が大きい。紋り込まれた瀬は水深があるが瀬肩のほうが釣果は安定している



3 流れが緩やかで釣り場も広い。広範囲を泳がせると好釣果が得られる



2 三尾川橋上流側の緩やかな瀬。全体に浅いので橋の上から追いアユが多く確認できる人気釣り場



1 瀬尻からトロ場にかけてのポイント。右岸側により石が入っている



17 両岸の岩盤に良型アユが確認でき見釣りを楽しめる



18 ダム下本流の最上流。両岸の岩盤がねらいめ。足下が滑りやすいので注意



19 浅利 (オトリ) 古座川ダム下最上流部、真砂橋の手前にあるオトリ店。(☎ 0735-76-0069)



12 平水時は仕掛けが届きにくい右岸側の岩盤だが過水時に好釣果が得られることも



11 右岸側に大石が沈んでいるポイント。良型がそろ



20 美女湯温泉 美女湯と書いて「みめゆ」と読む。道路工事中に掘り当てられた温泉で地元の人の共同浴場という感じ。開湯日が毎週火、木、土、日の4日間で14時から20時まで。大人300円、小人100円。祝日は休業



21 民宿沖 (オトリ) 国道42号から県道を走ってくと三尾川橋の手前にある民宿兼オトリ店で、ご主人は周辺のアユ釣り場に詳しい。(☎ 0735-75-0366)



7 100mほどのトロ瀬。掛かるポイントが日々変わるが両岸のカケアガリがねらいめ



6 中州があり右岸側の流れのほうに底石が大きい

古座川のダム下本流では上流域にあたるエリア。国道42号を南下し、串本町の和深から県道を山の中へ入っていくと15分ほどで三尾川橋に出るので下流域よりも意外と近い。古座川本流のなかでもよく肥え格好がよい良型がそろうことから、数釣り派よりも型ねらいの人に人気があるポイントが多い。とはいっても数釣りができないわけではない。増水後のサラ場に当たれば良型の入れ掛かりに遭遇することが多々ある。このエリアのなかでも最上流部は、いかにも大型が潜んでいそうな岩盤底の深トロが多く、胸まで立ち込んで仕掛けが届くところまでめいっばいオトリを泳がせ、掛かれば手前まで寄せてイトを摘んでタモですくうハラハラドキドキの友釣りを楽しめる。増水後はダムに近いことからニゴリが取れ



9 一見、変化が少ない釣り場。瀬尻から開いた浅トロがねらいめ



8 全体に底石は小さめで水深もない。群れアユが多いポイント

6 三尾川橋と真砂橋

7 しちかわ 七川漁区南部

「鮎道」の立て札があり途中までコンクリートで固められていて楽に入川できる



大滝。上流側に深い淵があり釣り下っていくとポイントが点在する

古座川本流と平井川との往来は、この道を利用する



ダム上本流では最下流域のポイント。ここが解禁日に144尾釣ったポイントだが、以前に比べ川幅が狭く底石も小さくなった



①のポイントの上流側は左岸の岩盤で良型がよく釣れる



●田中屋旅館
ダム上本流筋の下露地区にある旅館。オトリはないが遊漁券は販売している

七川ダムから上流域を管轄する七川漁協エリアの南部。古座川へ釣行する多くの人はダム下でサオをだす場合が多いためダム上のポイントが少なくなっている。水質は想像どおり抜群で「平成の水百選」に選ばれているのも当然と思える。透明度を誇り、素晴らしい景観とともに大自然を満喫できる釣り場である。

全体に川幅は狭く両岸とも木に覆われており、石は大きくアマゴ釣り場としても実績が高い。水温が上昇してくる5月ごろからアマゴの好釣果が得られ一部の人に人気があるようだ。

アユ釣りに関しては数釣りは難しいものの平均サイズは20cm前後のよく肥えた魚がそろい、食べても美味しくて、この川だけに通い詰める人も少なくない。私が知る限りでは数年一度、ダムで孵化した大量の稚アユの遡上がある。そんな年は川中アユだらけになることもあり、個人的にも数年前の解禁日に144尾という自分でも驚く釣果を得ることができた。

ただ七川漁協エリア内にはオトリ店がないので、道中の下流域で購入する必要がある。

七川ダムの上流は七川漁協の管轄であると伝える看板がところどころに立てられている

Guide

- 管轄漁協 七川漁業協同組合 (☎ 0735-77-0550)
- 解禁日 6月5日
- 入漁料 年券1万円、日券4000円(事業者免税点制度適用のため消費税なし)。18歳以下は無料
- 交通 オトリ持参であれば国道42号のすさみ町周参見の平松信号から県道38号で佐本川を経由し添野川、平井川、古座川本流の上流部に出るルートが近いが、オトリを古座川のダム下で購入する場合は串本町和深から三尾川橋へ出るルートなどでダム下から上流へ向かう



添野川、下地橋の上流側は毎年の解禁日に好釣果が報告されるポイント。底石が大きく複雑な流れを時間をかけて丁寧に釣ると好釣果に恵まれる



支流・添野川、下地橋下流側のポイント。川幅が狭いため岸からの釣りとなる。袋ダマがあると便利



下地橋の東詰、農道を通って入川する



七川ダムの上流は七川漁協の管轄であると伝える看板がところどころに立てられている

凡例

- ㊦ オトリ店
- 🅇 駐車スペース
- ★ 入川口、入川道
- 📷 撮影場所・方向
- 🚻 WC 公衆トイレ
- 📍 ガソリンスタンド
- 🏪 コンビニ

古座川エリア① ← 古座川エリア② ← 古座川エリア③ ← 古座川エリア④ ← 古座川エリア⑤ ← 古座川エリア⑥ ← 古座川エリア⑦ ← 古座川エリア⑧ ← 古座川エリア⑨



那智勝浦町を流れ天然遡上が豊富な知る人ぞ知る川

おおたがわ 太田川

古座川河口から国道42号で新宮、熊野川方面に向かうと鯨の町・太地の手前にアユが釣れそうなおとちと気になる川がある。聞けば天然アユが遡上するという！

解説◎喜多幅 武

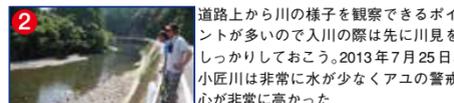


長いトロ場に短い瀬が多い中流域は河原が広く釣りやすい。釣果は2013年7月25日の小匠川。喜多幅武さんと森岡達也さんが実釣



太田川は那智山と峯山を水源とし途中、小匠川など各支流と合流し那智勝浦町下里で熊野灘へ注ぐ2級河川。和歌山県内のアユ釣りファンにもほとんど知られていないのが現状で、実際にこの川で友釣りをする人をほとんど見かけたことはないのだが、意外にも多くの天然アユが遡上する川なのである。私自身も3年ほど前にこの川を知り中流域まで見て回ったところ、その年の遡上が好調だったようで、どのポイントでもかなりの数のアユが確認できた。この川でサオをだした

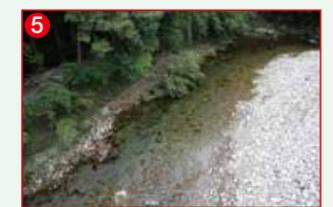
友人の話では、底石がしっかり入っているポイントでは入れ掛かりだったそうで、一部に通い詰めるファンもいるという。上流部には友釣り専用区もあるようで漁協では専用区をメインに放流活動をしているそう。しかし訪れる友釣りファンが少なくオトリ店がないため、他の地区でオトリを購入してここまで運ばなければならない。一般の釣果情報もまったくないので水況等を漁協に問い合わせる以外にはない。人気河川の混雑が苦手な人にはおすすめかもしれない。



道路上から川の様子を観察できるポイントが多いので入川の際は先に川見をしっかりしておこう。2013年7月25日、小匠川は非常に水が少なくアユの警戒心が非常に高かった

Guide

- 管轄漁協 太田川漁業協同組合 (瀬岡俊太さん宅 ☎0735-58-0010)
- 解禁日 6月1日。小匠ダム上流は7月第一日曜(予定)
- 入漁料 年券5000円、日券3000円(事業者免税点制度適用のため消費税なし)。18歳以下は無料
- 交通 国道42号を利用。串本方面からは八尺鏡野の信号を左折、新宮方面からは市屋の信号を右折し、それぞれ川沿いを北上する



1 新屋平橋下流の釣り場。左岸寄りによい石が入っている。見釣りができるので面白い



2 全体に小石と砂底になっており小型の群れアユが多い



3 川幅の半分くらいまで左岸から岩盤底が広がっており良型が釣れるポイント



4 左岸寄りの分流がポイント。アユが多く溜まるが人影に敏感になっていることが多い



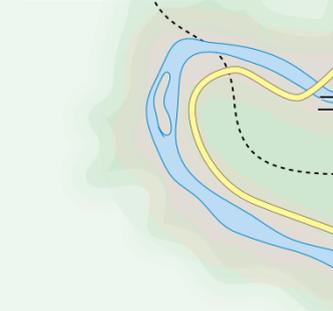
5 小石底の浅た。小型中心のポイントだが軽やかに釣れば数が出る



6 左カーブする瀬がポイント。ナワバリアユがいれば一発で追ってくるので、釣れない場合は早めに見切る



7 佐本川の上流部で一番開けた釣り場。魚が多い人気ポイントのひとつ



8 ここから上流は両サイドの木の枝に注意。良型アユがそろうので人気が高い



9 支流・佐本川はダム下の古座川漁協の管轄だ。この清流にも天然アユが多く遡上し、良型に育つ。全体にフラットな川相で拳大程度の石が多く非常に釣りやすい。見釣りができるポイントも多く良型で良質のアユが釣れることから年々人気が高くなり、以前は本流が濁った時の逃げ場のな釣り場だったのが、丸一日佐本川でサオを振る釣り人も多くなっている。ただポイントが多いが入川道や駐車スペースがあまりなく徒歩での釣り場移動となるため、徒歩での自信のある人におすすめだ。本流との合流点から下山橋までは車で

さもと 佐本川

支流・佐本川はダム下の古座川漁協の管轄だ。この清流にも天然アユが多く遡上し、良型に育つ。全体にフラットな川相で拳大程度の石が多く非常に釣りやすい。見釣りができるポイントも多く良型で良質のアユが釣れることから年々人気が高くなり、以前は本流が濁った時の逃げ場のな釣り場だったのが、丸一日佐本川でサオを振る釣り人も多くなっている。ただポイントが多いが入川道や駐車スペースがあまりなく徒歩での釣り場移動となるため、徒歩での自信のある人におすすめだ。本流との合流点から下山橋までは車で



10 毎年、紀伊ジョウロウホトトギスの花(左の写真)が咲く10月1日から16日までの半月間のオープンするカフェ



11 深谷橋から上流、深谷までは車の通行ができない山道



12 深谷橋から上流、深谷までは車の通行ができない山道